

IRB番号「2022-GB-162」

研究課題名「横這い型胃癌に関する狭帯域光併用拡大内視鏡所見と臨床病理学的特徴の検討」

1. 研究の対象

2005年3月1日-2021年12月31日の間に当院で内視鏡的粘膜下層切開剥離術（ESD）が行われた症例のうち、治療後病理で「横這い型胃癌」という種類の胃癌と診断された症例の方。

2. 研究の目的・方法

「横這い型胃癌」は通常の胃癌と異なり、白色光内視鏡観察で癌の範囲を診断することが困難であり、内視鏡治療後水平断端陽性率が高いと報告されています。通常の胃癌では狭帯域光併用拡大内視鏡（ME-NBI）を用いることが癌の範囲診断に有用であると報告されています。しかし、「横這い型胃癌」に特徴的なME-NBI所見の報告はなく、「横這い型胃癌」の範囲診断におけるME-NBIの有用性に関する報告もありません。よって、本検討により「横這い型胃癌」に特徴的なME-NBI所見を明らかにし、さらに「横這い型胃癌」の範囲診断にME-NBIが有用か明らかにすることを目的とします。方法としては対象となった方々の内視鏡所見、除菌歴、内視鏡治療結果、外科治療結果を診療情報から抽出します。この方法は後ろ向き観察研究という方法で、患者さんの負担はありません。

3. 研究期間

承認日 ～ 2026年03月31日

4. 研究に用いる試料・情報の種類

本研究に用いる下記の試料・情報につきましては、倫理審査委員会の承認を受けた研究計画書に従い、個人が特定されないように適切に匿名化処理を行った上で取り扱っています。

情報：内視鏡画像、ピロリ菌除菌歴、病歴 等

試料：内視鏡生検、内視鏡治療で摘出した病理切除標本 等

お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

公益財団法人 がん研究会有明病院
〒135-8550東京都江東区有明三丁目8番31号
研究責任者 上部消化管内科 医長 堀内 裕介
連絡先：電話番号03-3520-0111(代表) FAX番号03-3520-0141